

博報堂 教育財団 奨学生 OBOG会

OBOG会ってなに？
OBOG会ってどんなことをしているの？
博報堂教育財団奨学生
OBOG会について
詳しく紹介します！

連絡先

・公式LINEQR

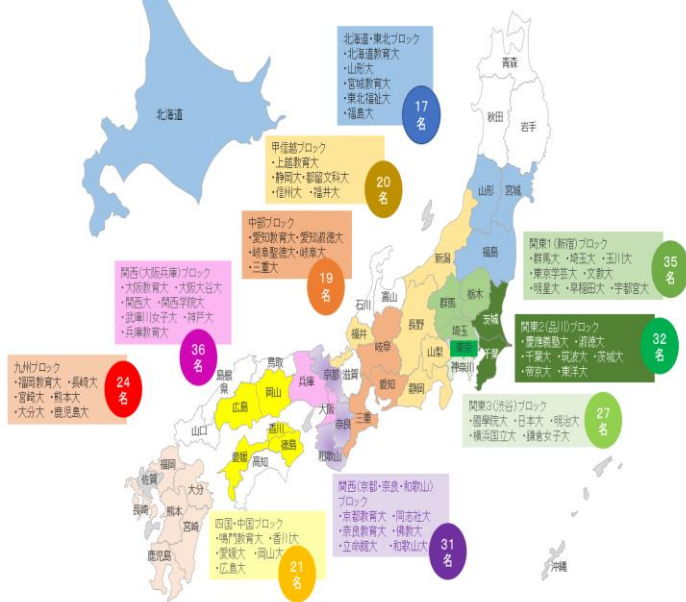


・公式LINEID 「@229alscd」

・博報堂教育財団奨学生OBOG会準備委員会
(Hakuho.obog2020@gmail.com)



近況報告会ブロックと所属大学



OBOG会のしくみ

OBOG会では、「全国の仲間がタテとヨコの繋がりを継続、発展させ続けながら教育をとおしてより良い社会を創造すること」を目的としています。

今後、財団の卒業生は増え続け、5年後には400人、現役奨学生を合わせると600人となります。10年経つと1000人規模の集団となり、国内でも最大規模となります。私たちOBOG会では、タテの繋がりを継続、発展させるために、北海道・東北、甲信越、関東、関西、中部、四国・中国、九州の支部会をつくり、忙しい教員のために近場で参加しやすい活動を定期的に行います。また、ヨコの繋がりを広げるために、年に1回全国大会を実施し、研修や楽しいイベントを通して教員としてのレベルアップと助け合える仲間を全国に広げる活動を行います。

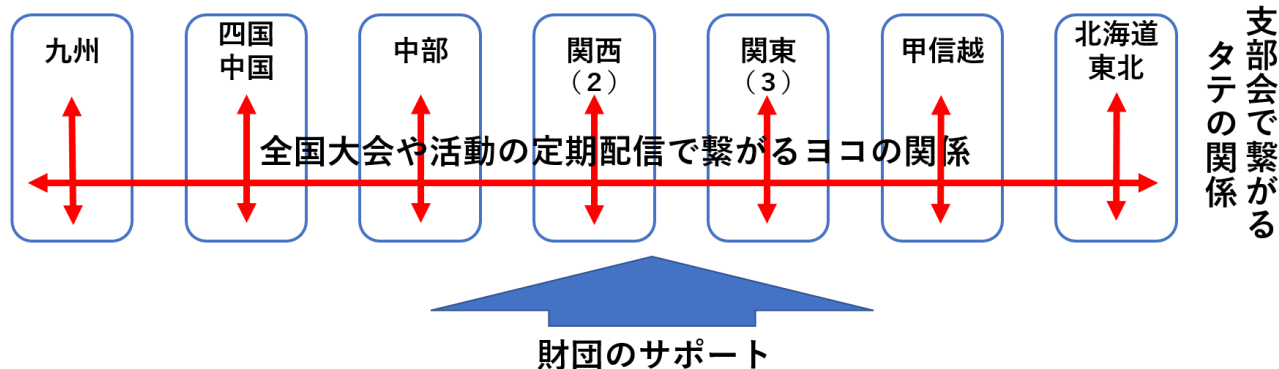
世の中の教員のイメージは、残業が多くて孤独だと言われていますが、私たちは違います。身近な場所にも、遠くの場所にも支える教員の同期、先輩、後輩がたくさんいます。いつでも相談できるし、教えてくれる。会って意気投合することもある。

こんな、日本社会で唯一無二の大助け合い集団を目指していきます。

OBOG会の目的

- ① 支部ごとの活動を通してセーフティーネットとしての役割を担う
- ② 現役奨学生の活動への後援
- ③ 視野を広げて学び続ける支えあいのネットワーク
- ④ 現メンバーと10の支部代表で全国連絡会を構成、教育の質の向上等に寄与することを目指す

博報堂教育財団奨学生OBOG会のしくみ



全国の仲間がタテとヨコの繋がりを継続、発展させ続けながら教育を通してより良い社会を創造する

- ① 支部ごとの活動を通してセーフティーネットとしての役割を担う
- ② 現役奨学生の活動への後援
- ③ 視野を広げて学び続ける支えあいのネットワーク
- ④ 現メンバーと10の支部代表で全国連絡会を構成、教育の質の向上等に寄与することを目指す

OBOG会の活動

OBOG会の中の交流会に参加できることはもちろん、博報堂教育財団奨学生の研修会や交流会を企画・運営したりと幅広く活動しています。

5月：懇親会・新歓

8月：OBOG1泊2日夏合宿

11月：近況報告会のOBOG報告登壇・交流会企画

3月：活動報告会



1 自己紹介をしよう

時間：15分×3セット
交流内容：テーマに
フリート

Kahoot! とは...



オンライン懇親会をピックアップ!

毎年5月上旬ごろ、OBOGオンライン懇親会が開催されます。グループ交流やゲームなど、楽しい企画がたくさん！様々な現場で活躍されている皆さんから貴重なお話を聞くことができます。ご飯を食べたり、お酒を飲んだりしながら...とても楽しく、有意義な時間です。

感想

- ◆ 久しぶりに仲間の顔が見れて、本当に元気をもらえました。個別で連絡とって、来週2人で電話することも決まりました。こういう機会が無いと、なかなか連絡とれなかったりするので、定期的にかけて頂き本当に感謝です！
- ◆ ゲーム内容からお題まで考え抜かれておりとても楽しかったです。
- ◆ 初めての参加でしたが、とても楽しかったです。またの機会がありましたら、ぜひ参加したいと思いました。



OBOG会メンバーの声

メンバーに聞きました！
OBOG会に入っていてよかったことは？
楽しかったことは？
なぜ入ったの？

仲間がたくさん！

いつも交流会などでお世話になっていた先輩方のように少しでも力になればと思い、OBOG会に入りました。懇親会では、OBOGのみなさんと楽しみながら、たくさんお話しでき、仲間がたくさんいるんだな〜と実感できたのがとても嬉しかったし、同じ自治体で働く人も見つけることができたのでよかったなって思います！

(3期生 小学校教員)

「ねえ、ちょっと聞いてよ」

OBOG会の活動は、二つの糸から成っている、と思います。一つは、教員になった者同士が、お互いに相談したり話を聞いてもらったりして、心のケアや学び合いをするという、ヨコの糸。もう一つは、自分たちの経験や想いを、教職を志す後輩に提供したり受け継いだりする、タテの糸。この二つの糸を紡いで、志を高め共有し、目の前の子どもたちを、そして教育全体を良くするのが、OBOG会の存在意義だと思っています。日本の教育と、子どもたちの未来に、光を。

(1期生 中高国語教員)

自分を見つめ直す機会

様々な人と出会えることです。社会人となってからは限られた人としか会わないため、自分の考えに固執してしまふことがあります。そういう時に研修会で勉強をしたり、OBOG会メンバーや奨学生と話をすることで「こういう考え方ができるんだ！」と視野が広がったり、「自分は前回こういう思いでいたな」と自分を見直すことができ、とても貴重な機会だと感じています。

(1期生 特別支援学校教員)

大きな財産

私はOBOG会のゆるく繋がっている感じが好きです。毎日連絡をとることは無くても、ちょっと聞きたいことがあるときに、顔が思い浮かび、さっと連絡できる仲間がいることは自分にとって大きな財産だと思っています。同じ専攻・大学・地域じゃない仲間と出会う機会って大学を卒業すると、一気に減りませんか!?だからこそ、縁があって出会えた仲間とゆるく繋がりが続けることができる、このOBOG会に私はとても感謝しています。

(2期生 大学院生)

博報堂 教育財団 奨学生 OBOG会

ぜひ
卒業後も
繋がっていきましょう！

ご連絡お待ちしております

連絡先

・公式LINEQR



・公式LINEID 「@229alscd」

・博報堂教育財団奨学生OBOG会準備委員会
(Hakuho.obog2020@gmail.com)

